

誰ひとり取り残さない

～最初の一歩をフェアトレードで～

令和2年度課題研究 I

2年2組27番 三橋凜生

● 要旨

SDGsの達成のために私に何ができるのか。私ひとりから始められる活動を意識し、フェアトレード商品に着目。まずは商品を知ってもらい、購入することの意義を伝える活動として、地元企業にポスター・ポップの展示やパンフレットを設置。多くの方の意識改革に繋げられた。また日本初のフェアトレード認定紙であるバナナペーパーを甲陵高校の卒業証書へ導入することを検討している。これら活動を通して感じた大切なことは、ひとりひとりの意識改革と持続可能な社会へ一歩を踏み出すことである。



● 目的 | 1

フェアトレード商品の知名度を上げ、積極的に購入して頂けるよう意識改革をすること



● 目的 | 2

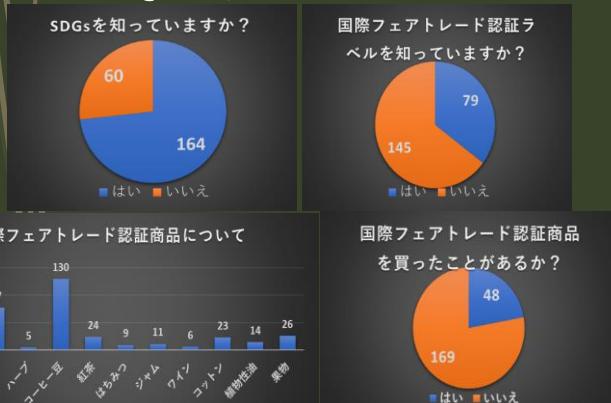
バナナペーパーを利用した卒業証書への転換を学校に提案し、導入を勧めること

● 方法

- SDGsに関する意識調査を行う。
- フェアトレードの意義について専門店オーナーさんに話を聞く。
- イオンスタイルへの協力依頼（ポスター・ポップの展示。パンフレットの設置）
- バナナペーパー製造会社への調査。
- バナナペーパーを卒業証書へ導入するように学校に提案する。

● 活動の経過 | 1

- フェアトレード知名度・意識改革Up活動
- 意識調査@甲陵1,2年生 224人



● 活動の経過 | 2

- フェアトレード専門店「しゃんていこっこ」オーナー高橋さんのお話
- 開発途上国では、貧困ゆえに、児童労働者として働き、教育を受ける機会を奪われている子供が多くいる。
- フェアトレードを行うことで、開発途上国の人々は、安定した収入と良い労働環境の中で、子育てができ、児童労働を防止できる。
- このフェアトレード商品を購入することが開発途上国の人々をサポート出来ることを教えられた。



● 活動の経過 | 3

- イオンスタイル@甲府昭和店へのポスター等の展示やパンフレットの設置



誰ひとり取り残さない

～最初の一歩をフェアトレードで～

令和2年度課題研究 I

2年2組27番 三橋凜生

● 活動の経過 | 3



● 活動の経過 | 4

- ◆ 日本初のフェアトレード認定紙「バナナペーパー」の調査について
- ▶ その名の通り、バナナの茎からできる紙
- ▶ 通常捨てられてしまう茎を再利用し、その茎の繊維に、日本の和紙工場で古紙を加え、バナナペーパーを作る
- ▶ 社会循環型の究極の工芸紙素材
- ▶ 1本の木も切らない → 森林伐採の防止
- ▶ 森林が失われない → 動物の絶滅防止
- ▶ 産業のない小さな村に雇用が生まれる
→ 貧困の解決にも繋がる
- ▶ 子供達が学校に行く事も出来るようになる
- ▶ 65人のバナナペーパーの卒業証書で卒業すると、ザンビアの子供が一人、学校に入学できる



● 活動の経過 | 5

◆ 学校への提案活動

- ▶ 上記の内容をもとに、学校に対し、プレゼンを実施
- ▶ 卒業証書を甲陵高校に導入するように学校に検討を依頼中



● 結果と考察

- ◆ フェアトレード商品の知名度Up活動ではポスター(2か所)・ポップ・パンフレット(322/380)の設置で一定の認知度Upに繋がったと思われる
- ◆ バナナペーパー製卒業証書の導入については、甲陵高校への検討だけでなく、父の会社でも表彰状やコピーペーパーへの導入検討をしていただいている、この活動を通して、多くの人たちにフェアトレード商品の認知度Upや意識改革に繋げられると考える



● 参考文献：バナナペーパー関連

- ◆ 検討中のメーカー
 - ▶ ミヤザワ株式会社
 - ▶ 〒369-0315 埼玉県児玉郡上里町大御堂1450-6
 - ▶ URL: <https://www.miayazawa-kk.jp/>